

実施要項

江戸東京たてもの園(江戸東京博物館分館)では、建物を移築した野外博物館としての利点を活かし、古い建物の中で昔の生活道具に実際に触れて体験学習を行うことができます。

この体験学習では、人々のくらしの移り変わりを容易に、また鮮明に認識することができ、さらに体験をサポートする当園ボランティアとの関わりから、ひと昔前のくらしの様子を聞くこともできます。ぜひご活用ください。

1. 対象

小学校3年生(社会科「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の学習を想定した体験プログラム)

2. 実施日

2019年10月～2020年3月上旬までの火・水・木・金曜日

※園行事やその他事業等によりお受けできない日もあります。

※申込多数の場合、予約した体験日時の変更・延期・予備日設定はお受けできません。

※体験予約日以外のご来園は、随時、団体見学にてお受けしております。

3. 受入校数

1日につき1校のみ(3組・100名程度まで)

※1校を複数日に分けて体験実施することはできません。団体見学の受付は随時可能です。

※学級数や児童数の多い学校、滞在時間の短い学校は、体験が制限される場合があります。

4. 実施場所

吉野家及び綱島家の2棟(いずれも西ゾーンの茅葺き民家)

※体験中は、各棟に教職員1名以上を配置願います。

※園内での工事等により、実施場所を変更する場合があります。

5. 体験内容

(1) 石臼体験(お米を挽いて粉にする)

(2) 火おこし体験(火鉢の炭に火をおこす)

※2種類の体験を、各棟内で並行して実施します。詳細は、「実施の手引き」でご確認ください。

6. 体験時刻と所要時間

開始時刻は10:30以降、所要時間は各30分(体験2種類の場合は、1組あたり1時間)。

※指導は担当ボランティアが行います。正午をまたぐ体験時間の場合は、休憩を1時間いただきます。

※ボランティア活動時間(10:00～15:00)内で準備・体験・片付けを行うため、体験時間は10:30～14:30の間となります。

※開始時刻には遅れないよう時間厳守でお願いします。(体験時間は限られております。)

※到着の遅れ等により滞在時間が短くなった場合、体験内容等が制限される場合があります。

7. 班編成

1組につき4班、各班8名程度(最大10名)に編成してください。

※予めスケジュールに沿った班編成をし、班毎の人数は均等になるようにご配慮ください。

※スケジュールは、実地踏査(下見)及び打合せ後に決定します。

8. 申込方法

当該年度の4月初めの開園日より、当年度分を先着順で受け付けます。あわせて、学校団体として団体申込の申請をしてください。

※受付後、担当者より受付確認と体験スケジュール案をFAXにて送付します。スケジュールの確定は、打合せ後になります。申込手順については、4頁をご参照ください。

9. 実地踏査(下見)及び打合せのお願い

体験を希望する学校は、実地踏査(下見)及び打合せを必ず行ってください。

実地踏査(下見)および打合せは、スケジュール調整の都合上、事前予約のうえ体験実施日の前月上旬までにお済ませください。

なお、長期休暇期間中(夏休み等)は大変混み合います。また、休園日や園事業の都合等によりお受けできない日もありますので、必ず事前に担当までご連絡ください。

(1) 実地踏査(下見) <所要時間めやす：1時間程度>

開園時間内に園内をご見学ください。

特に、実施場所の位置や移動にかかる時間をご確認ください。

※実地踏査(下見)日の入園料は、入園時にお申し出の上、所属のわかる職員証等をご提示いただいた場合、免除となります。

(2) 打合せ <所要時間めやす：1時間程度>

園内見学ののち、体験内容の詳細や持ち物、安全・円滑に実施するためのお願いや注意事項、事前学習のポイントなどについてお話しいたします。

10. 入園料

小学生は、入園無料です。都内の小・中・高校生とその引率者が教育活動として観覧する場合は、入園料が免除されます。(事前の承認が必要です。)

※打合せが済み次第、担当者より実施日前月中旬ごろまでにFAXにて書式「減免申請書」をお送りします。ご記入・学校印押印の後、2週間前までにFAXで一度ご返送ください。ご記入済の原本は、当日必ずご持参いただき、受付にご提出ください。

※付添の保護者やカメラマンは、免除の対象となりません。当日、入園券をお求めください。

11. 地震が発生した場合の対応

①体験中の場合はその場で体験を中止し、まず児童を落ち着かせてください。体験中やその他の建造物の中にいる場合は、落下物によるケガ等を避けるため、揺れがおさまるまで建造物の外に出ないでください。

②建造物を外から見学中や移動中は、瓦などが落ちてくる場合がありますので、建造物に近づかないでください。

③大きな地震が発生した場合は、園内放送が入ります。避難誘導は教職員にお願いしております。園内放送や警備員等の指示にしたがって避難誘導をお願いいたします。

※園内での避難場所は**エントランス広場及び東の広場**(藤棚の前)です。ご確認ください。

12. 見学に際してのお願い

たてもの園をご見学いただくにあたり、建造物保存の観点から次の事項につきまして、あらかじめ児童の皆様にご周知いただきますよう、よろしくご配慮願います。

1. 江戸東京たてもの園は、東京の歴史や建物について学ぶ博物館施設です。
静かに見学しましょう。
2. 見学中は大きな声を出したり、走ったりして、他の人の迷惑にならないよう注意しましょう。
3. 建造物内では、飲食はできません。
こぼしたりすると大切な文化財を傷めることにもなりますので止めましょう。
4. 園内のものはどれも大切な文化財です。
「手をふれないでください」と書いてある展示物には、絶対にさわらないようにしましょう。
5. パンフレットや園内の注意書きをよく読みましょう。
わからないことがあったら、たてもの園のスタッフに聞きましょう。
6. グループに分かれて見学する場合は、グループごとに見学マナーをしっかり守りましょう。

特に、三井八郎右衛門邸は、美術的・歴史的価値の高いものが数多くあります。
見学にあたっては、次の注意事項をご一読の上、ご協力をお願いいたします。

「三井八郎右衛門邸」見学の注意事項

- ◎児童のみでの見学はしないこと（必ず教職員が引率してください）
- ◎立入禁止の場所には入らないこと
- ◎調度品には絶対に手をふれないこと

園内の見学には、肩掛けタイプの画板（ボード）をご持参されることをお勧めします。

柱や床の上で
メモをとらないで
(木材に傷がついてしまいます。)



えんぴつやボールペンなど、
筆記具の取り扱いにご注意を

白壁に手をつかないで



土間を揺らないで

壁や展示物にぶつけないよう、
荷物やカメラにご注意を



建物に入る時は
大きな荷物は持たない(預ける)
か、もしくは抱えて持つようにしてください。

13. その他

(1) 雨天時

体験は復元建造物内で実施しますので、雨天の場合でも体験していただけます。

※雨具(かさ・カッパ等)のお取扱い、紛失にご注意ください。

(2) 飲食可能な場所

園内の建物(30棟の復元建造物)内は、天候にかかわらず飲食禁止です。

※飲食は、屋外(エントランス広場、東の広場、ベンチ設置箇所など)、もしくは飲食店舗内のみです。

※東ゾーン・店蔵型休憩棟1階は、どなたでもお使いいただけるスペースとなっており、一般のお客様もご利用になります。特定の団体のみでの占有使用はご遠慮いただいておりますので、譲り合ってお使いください。

(3) 昼食場所の予約

飲食可能な屋内施設は、プレハブ棟(東ゾーン子宝湯裏側)2階のみです。

利用を希望される場合は、予約が必要となりますので体験申込時にお申し出ください。

※教育活動で来園される団体の昼食場所や荷物置き場としてお使いいただけます。

※プレハブ棟の収容定員は80名程度となります。定員を超える場合は、時間差でお使いいただくなどご考慮願います。

「昔くらし体験」申込の手順

